

【和食文化継承リーダー活動レポート③】

和食文化継承リーダーとして、実践研修のサポーターや和食文化継承リーダー限定イベントでの事例発表など、和食文化継承リーダー間でのスキルアップへのサポート活動もスタート。

まずは、本事業では和食文化継承リーダーに認定されている方を対象に、和食文化継承リーダー研修の「実践研修」において、事例紹介や講師のサポート業務を行っていただく活動を令和4年度からスタートさせました。サポーターの方へインタビューしました。



やま なか

あつ よ

山中 淳代さん

令和3年(2021)度 和食文化継承リーダー
奈良県 奈良市立大宮小学校 栄養教諭

Q：和食文化継承リーダー研修を受講されたキッカケは？

A：食文化をテーマにした食育に取り組んでいたもので、スキルアップのために以前から受講したいと思っていました。日程が合わず参加できずにいましたが、オンライン研修となり参加しやすくなったことから受講することにしました。

Q：サポーターとして活動されてどうでしたか？

A：全てのグループワークに参加させていただき、様々な職種の方が取り組んでおられる食文化を伝えるための実践に触れ、自分自身がとても勉強になり元気をいただきました。

「酢の物が大好きで旬の食材を甘酢漬にして楽しんでいます。」とお答え頂いた山中先生

Q：和食文化継承リーダーとして今後どのような活動をしていきたいですか？

A：学校現場にいますので、子どもたちを対象に食文化をテーマにした食育に取り組むことはもちろんですが、次世代の栄養教諭に食文化を伝えていくことの重要性を繋いでいきたいと思っています。



やま もと

か な

山本 加奈さん

令和元年(2019)度 和食文化継承リーダー
大阪府 大阪教育大学附属池田小学校 栄養教諭

Q：和食文化継承リーダー研修を受講されたキッカケは？

A：栄養教諭の先輩に勧められたことがきっかけです。講習では他校の先生方と繋がるだけでなく、授業案を一緒に考えることができてとても有意義な時間でした。

Q：サポーターとして活動されてどうでしたか？

A：複数の実践例をリーダー研修で共有させていただきました。自身の実践を振り返られたとともに、より良い実践に繋げていきたいと刺激をいただきました。

給食室前で児童に見せるスパテラとともに笑顔の山本先生

Q：和食文化継承リーダーとして今後どのような活動をしていきたいですか？

A：本校では洋食も好きだが、和食も好きと答える児童が多くいます。煮物や魚も好んで食べる児童が多いです。しかしながら、パン食を好む児童もいて、家庭での和食離れも進んでいるのかもしれませんが、和食の良さや伝統を今後も給食を通して児童へ伝えていくだけでなく、出汁を活かした和食の作り方を保護者へ上手く発信していけるようにしていきたいです。

次に、令和4年度に「モデル授業」を実施され、和食文化継承リーダー限定イベントでは事例発表会などに出演いただいた齋藤さんへインタビューしました。

さいとう ゆうこ

齋藤 裕子さん

令和3年（2021）度 和食文化継承リーダー
宮城県 宮城教育大学附属小学校 栄養教諭

Q：モデル授業を実施する際に工夫された点は？

A：子供の「知っているつもり」を揺さぶる働き掛けをすることで、和食の魅力に気付かせ、伝えていくことの大切さを自分事として捉えられるようにしたり、年中行事と食との関わりを意識させるために、毎日食べている給食を教材として活用したりしました。

Q：実際にモデル授業をやってみてどうでしたか？

A：大学の先生や和食文化の専門家の協力を得て、担任と栄養教諭がそれぞれの専門性を生かしながらチームになって取り組んだことで、子どもたちの深い学びにつながる授業づくりができ、とても勉強になりました。授業づくりをする中で、和食文化の存在が薄れつ

「出汁の効いた具だくさんの汁物が大好き」とお答えいただいた齋藤先生

つある子どもの実態を目の当たりにしました。和食の魅力を理解するためには実際に食べたり、作ったりすることが大切だと思います。授業で取り上げた「雑煮」を、授業後すぐに給食に出して味わわせることができるのは栄養教諭の強みです。今後も給食を教材として和食文化の魅力やSDGsとの関わりを伝えていきたいと思っています。さらに、この授業をきっかけに、冬休みの宿題として家で子供自身が雑煮を作り、作る楽しみを体験し、家族の団らんが生まれました。今後も家庭に学びを返せるような食育の取組を行っていききたいと思っています。

Q：イベント（事例発表会）へ参加するまでの準備期間は？

A：1週間ぐらいです。これから和食の授業をされる方の参考になればと考えながら、今回モデル授業を実施することになったきっかけや、授業内容を決めるまでの過程、授業当日の様子等をスライドにまとめました。

Q：イベント（事例発表会）では、実施された「モデル授業」について発表いただきましたが、感想は？

A：色々な業種の方が参加されていたことに驚きました。子どもたちに和食文化を伝え残していきたいという共通の思いを持つ方々なので、繋がり、協力し合っていくことで、今後素晴らしい活動ができるのではないかと期待を持ちました。

<編集後記>

過年度の和食文化継承リーダーの方が、リーダー間のスキルアップのサポート活動もスタート。

奈良市の世界遺産学習

世界遺産・地域遺産→教育的に活用

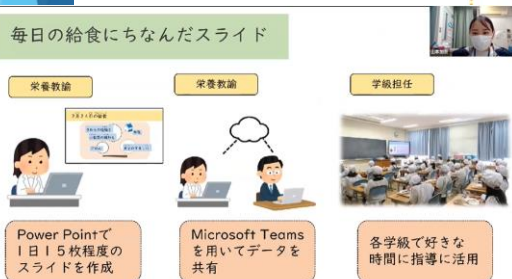
- 地域を大切に、誇りに思う心を育む
- 持続可能な社会の担い手を養う



「総合なら」 3年生：おん祭 4年生：鹿
5年生：世界遺産 6年生：正倉院

↑実践研修での事例発表：山中先生↑

↓実践研修での事例発表：山本先生↓



令和4年度

和食モデル授業実践報告

～栄養教諭の視点から～

宮城教育大学附属小学校
栄養教諭 齋藤裕子

↑イベントでの事例発表：齋藤先生↑

事例発表の共有は、昨年イベントでも受講者から興味・関心の高かった講座であり、実際に学校現場等で実践にあたられている講師からの発表は、非常に満足度が高く、今後も積極的に共有の場づくりを運営事務局としても強化していきたいと考えています。